



都市と地域交流型修学旅行(甲冑体験) 東京都三田国際学園中学校

## 丸岡藩成立四百年に向けて

竹吉 睦

令和六年の北陸新幹線福井・敦賀開業に向けて、さまざまな「おもてなし」の準備が進められているところですが、この年は、丸岡藩が成立して四百年を迎える年にも当たります。

慶長一七年(一六一二年)、福井藩で起きた越前騒動(久世騒動)の結果、丸岡城主の今村盛次が磐城(現福島県・宮城県)へ配流(鳥居家へお預け)となり、翌年、本多成重が丸岡城に入り、府中の本多富正とともに、「両本多」と呼ばれて、福井藩の藩政を主導する地位に就きました。

福井藩主の松平忠直は、幕府に対する不行跡が目立つようになり、成重の忠告もむなしく、元和九年(一六二三年)、幕府より塾居を命ぜられ豊後への配流となりました。寛永元年(一六二四年)、福井藩は減封され、大野藩、勝山藩、木本藩、丸岡藩が成立しました。

本多成重は、一旦江戸に召還されますが、丸岡藩四万六千三百石の初代藩主として再び丸岡城に入城し、城下町の建設や治水工事に尽力しました。近年の研究で、現在の丸岡城天守は、このころ築城されたことが分かっています。

北陸新幹線開業の年は、丸岡藩成立四百年の年でもあります。四百年の歴史に思いを馳せ、その歴史的意義について、考えてみてはいかがでしょうか。



# 城のまちふエスティバル2022

8月27日(土) お天守前公園において、城のまちまちづくり協議会をはじめ、区長会、平章小学校PTA、丸岡観光ボランティアガイド協会、大学生ボランティアの皆様のご協力により城のまちふエスティバルが3年ぶりに開催されました。

子ども縁日(10時～14時)では、輪投げ、ヨーヨー釣り、巨大スマートボール、ボールすくい、手裏剣忍者ゲーム、お楽しみくじ引き、子ども木工教室に多くの子どもたちが挑戦し、楽しいひと時を過ごしました。

ジャズコンサート(17時～20時)では、オープニングで三国中学校地域伝統芸能部の小粋な太鼓演奏と丸岡南中学校吹奏楽部の軽快な演奏でコンサートがスタートしました。

引き続き「丸岡城おとのさま・おひめさまコンサート」が始まり、金津ジャズ倶楽部のゴージャズな演奏、そして夜空に浮かんだ丸岡城をバックに歌姫3組(土屋ママミ、フェリーチエ・アルモニア、藤田育代)の素敵なボーカル、特別ゲストの高浜和英さんのピアノに酔いしれました。

## 楽しい楽しい縁日

久しぶりに丸岡祭りの思い出が帰ってきました。



キッチンカーも勢ぞろい



夏休み最後の宿題。木製イスの完成です!!



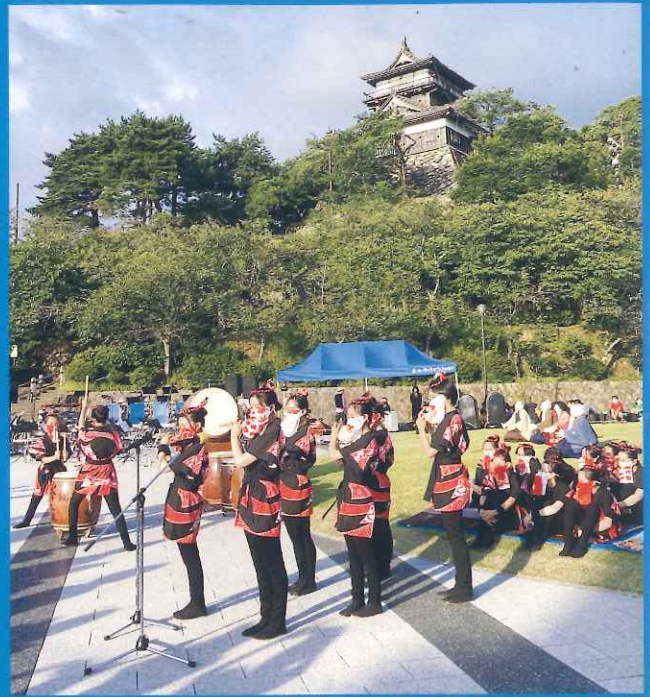


## 城下に響く和洋の音色

奏でる喜び、鑑賞する喜びが戻りつつあります。



出演者のみなさんによる豪華なJAZZ演奏。ピアニスト高浜和英&歌姫



三国中学校地域伝統芸能部



丸岡南中学校吹奏楽部

Let's TRY!

### 新企画

写真にスマホをかざして見よう！  
これからも続きます。乞うご期待！



下記のQRから無料のアプリ『COCOAR』をダウンロード。上記の写真を、アプリを立ち上げてからかざして見てください。写真が動き出し、当日の様子がご覧になれます。

#### ■ iOS

AppStoreで  
【COCOAR】と検索。  
もしくは右記QRから。



#### ■ AndroidOS

Google Playで  
【COCOAR】と検索。  
もしくは右記QRから。



金津JAZZ倶楽部



# 城のまちまちづくりアンケート

近年私たちを取り巻く環境は複雑・多様化し、城のまち地区（平章小学校区）に住む皆様が、超高齢社会（※1）・少子社会を生きていくためには、地域のつながりを強くし、子どもから高齢者までお互いを支え合う社会を実現する必要があります。

そこで、地域が抱える課題を洗い出し、その解決策を皆様とともに考えていきたいと思い、このたび「まちづくりアンケート」を実施いたしました。

今後は、城のまち地区の目指すべき目標や取り組みを「城のまちまちづくりビジョン」として明確にしていきます。今回はこのアンケート結果の一部をご紹介します。

（※1）65歳以上の人口の割合が全人口の21%を超えた社会を指します。

### ◇調査対象者

令和4年7月1日現在、城のまち地区（平章小学校区）に居住している16歳（高校生）～85歳の住民580人（対象者4,453人の中から580人を無作為に抽出）

### ◇調査期間

平成4年7月5日から令和4年7月25日  
（提出期限 令和4年7月25日）

### ◇調査項目

地域と環境、地域をよくするための活動、まちづくり活動への興味関心など 全30問

### ◇回収方法 ①または②のいずれか

- ① 調査票による本人記入方式  
郵送による配布および郵送による回収
- ② インターネットによる回収  
郵送による配布およびQRコード読み取りによるインターネット回答

### ◇回収結果

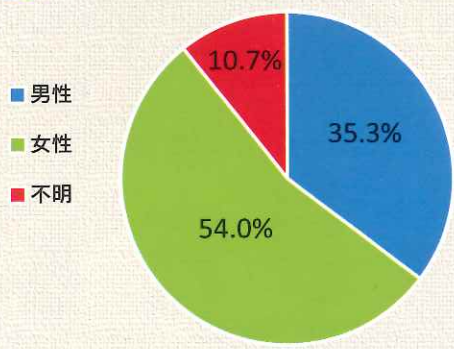
187票（回収率：32.2%）

## ①回答者について

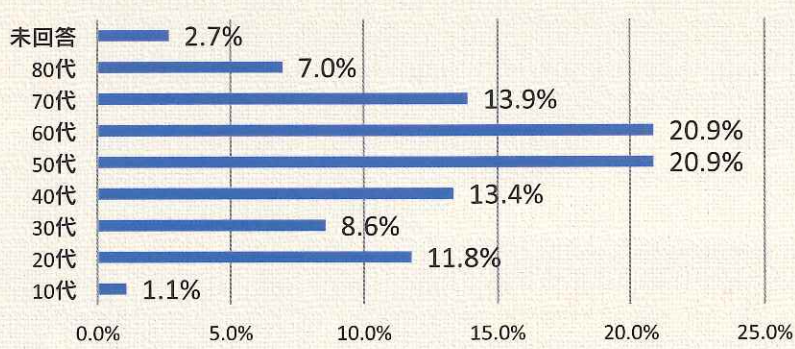


回答者の性別は女性が多く、年齢は50代、60代が多くなっています。

### Q 回答者の性別



### Q 回答者の年齢



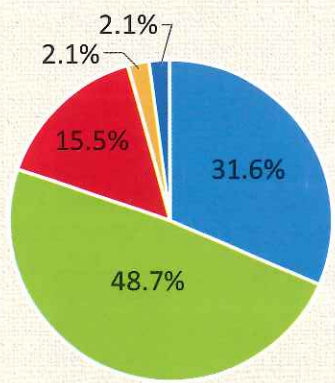
## ②暮らしと環境について

### Q 城のまち地区に愛着や誇りを感じていますか？

城のまち地区に愛着や誇りを感じている方は「とても感じている」「やや感じている」を合わせて80.3%となっています。

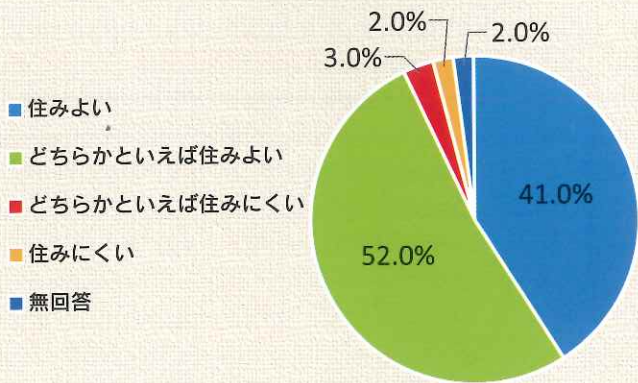


- とても感じている
- やや感じている
- あまり感じていない
- まったく感じていない
- 無回答





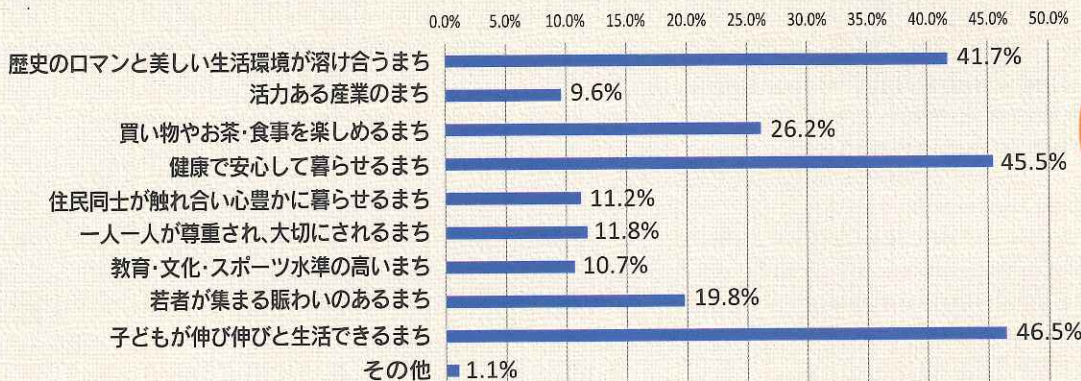
**Q 城のまち地区が住みよいまちだと思いますか？**



城のまち地区が「住みよい」「どちらかといえば住みよい」と感じている方は、合わせて93%と非常に高い数字となっています。



**Q 城のまち地区が将来どのようなまちになっていると良いと思いますか？**



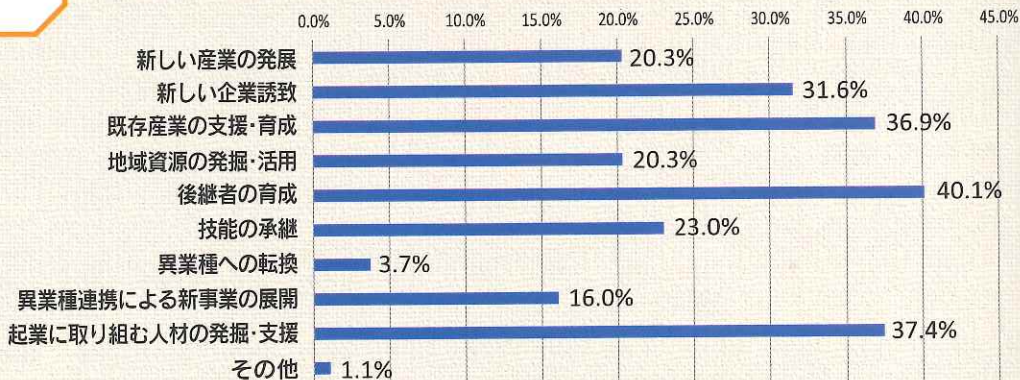
城のまち地区が将来どのようなまちになっていると良いか尋ねたところ、「子どもが伸び伸びと生活できるまち」「健康で安心して暮らせるまち」「歴史のロマンと美しい生活環境が溶け合うまち」の順に多くなっています。



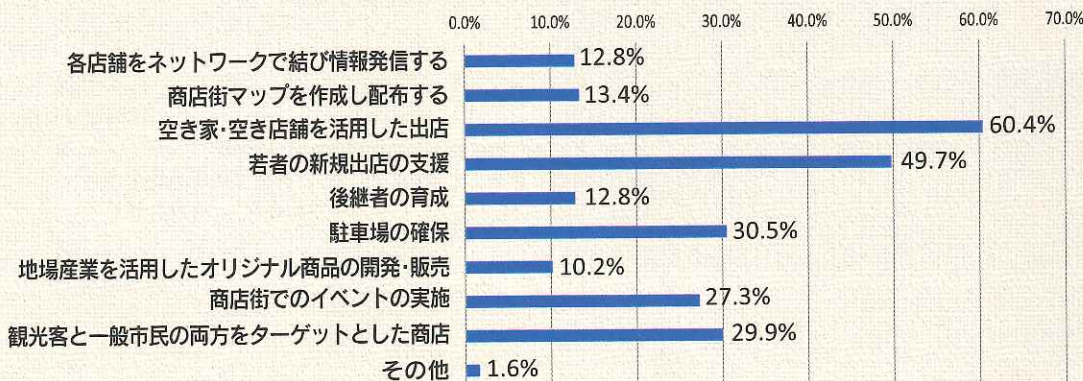
**③地域をよくするための活動**

**Q 地域産業の振興のために取り組むと良いと思うことは何ですか？**

地域産業の振興のために取り組むと良いと思うことを尋ねたところ、「後継者の育成」「起業に取り組む人材の発掘・支援」「既存産業の支援・育成」「新しい企業誘致」の順に多くなっています。



**Q 商店街の活性化のために取り組むと良いと思うことは何ですか？**



商店街の活性化のために取り組むと良いと思うことを尋ねたところ、「空き家・空き店舗を活用した出店」「若者の新規出店の支援」「駐車場の確保」「観光客と一般市民の両方をターゲットとした商店」の順に多くなっています。

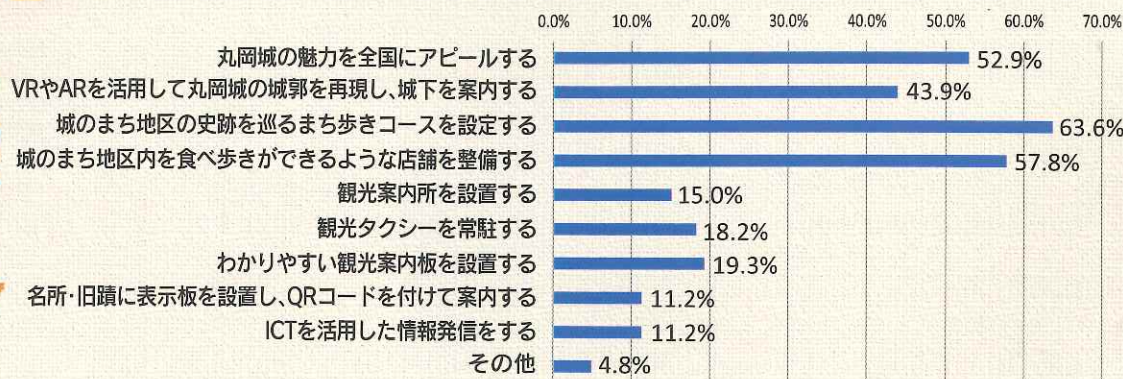




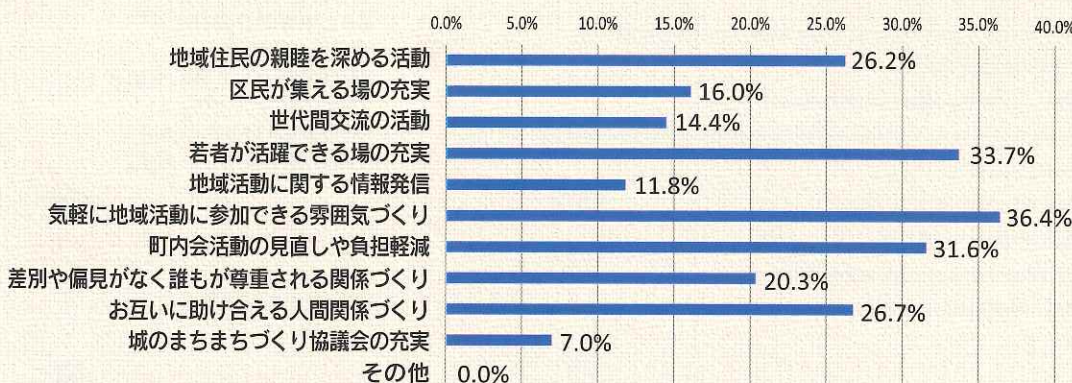
丸岡城を核とした賑わいづくりのために取り組むと良いと思うことを尋ねたところ、「城のまち地区の史跡を巡るまち歩きコースを設定する」「城のまち地区内を食歩きができるような店舗を整備する」「丸岡城の魅力を全国にアピールする」「VRやARを活用して丸岡城の城郭を再現し、城下を案内する」の順に多くなっています。



**Q 丸岡城を核とした賑わいづくりのために取り組むと良いと思うことは何ですか？**



**Q 地域のきずなを深め、コミュニティを維持するために取り組むと良いと思うことは何ですか？**



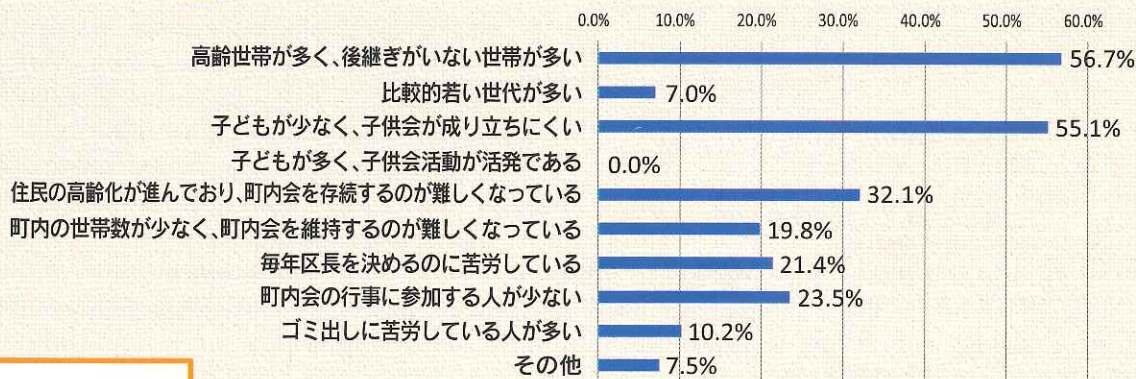
地域のきずなを深め、コミュニティを維持するために取り組むと良いと思うことを尋ねたところ、「気軽に地域活動に参加できる雰囲気づくり」「若者が活躍できる場の充実」「町内会活動の見直しや負担軽減」の順に多くなっています。



町内会の現状についてお尋ねしたところ、「高齢世帯が多く、後継ぎが少ない世帯が多い」「子どもが少なく、子供会が成り立ちにくい」「住民の高齢化が進んでおり、町内会を存続するのが難しくなっている」の順に多くなっています。

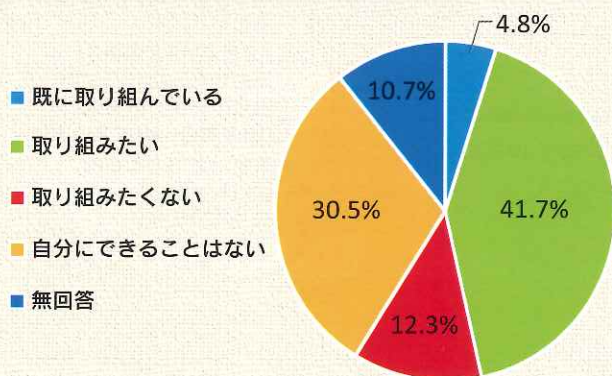


**Q 町内会の現状について**



**④まちづくり活動への興味関心**

**Q 城のまち地区にある課題の解決に向けて、自らできることに取り組みたいと思いますか？**



城のまち地区にある課題の解決に向けて、自らできることに取り組みたいと思うか尋ねたところ、「すでに取り組んでいる」「取り組みたい」を合わせて54%となっています





# 防災研修会 テーマ「地震 その時家族で守る 地域で守る」

区長会とまちづくり協議会との合同開催

7月16日(土)午後6:30開会

丸岡城のまちコミュニティセンター

講師:特定非営利活動法人 まちの防災研究会

理事長 松森 和人氏

災害から命を守る三カ条

- ①あまく見ない
- ②正しく学ぶ
- ③つながる

参加者たちは「平常時の取り組み」・「被害確認・安否確認の方法」・「被災後に起きる命の危険「災害関連死」の対策を！」の大切さを学びました。



その時! と その時の為に! After & Before (地震編)

machibouken http://www.machinobousai.jp

今、大規模な地震が起きたら あなたは大丈夫? あなたの家族は大丈夫ですか?  
「まあ 何とかなるよ・・・」とか「行政や消防が守ってくれるから・・・」って考えてませんか?  
災害による被害は無防備なところ、弱いところを狙ってきます。  
『自分の命は自分で守る』これは防災・減災の大原則です。  
まず、自分の、家族の命を守る備え『自助』をしてください。

大規模な地震の場合、最初の3日間は公的なデータは難しい状況になります。  
だから、自分で、家族で、地域で、命を守りあうことが必要です!  
そのためには普段からのご近所付き合い、そして、地域で命を守りあう仕組みづくりが大切です。  
「近所付き合いはともも・・・」という人もいますが、いざという時とつても頼りになるのはやっぱり「ご近所」ですよ。地域で命を守る備え『互助・共助』をしてください。

これだけは絶対!

**災害から命を守る三カ条**

**あまく見ない 正しく学ぶ つながる**

**あまく見ない** 災害による被害は、殆どの場合が「素観察する」という、甘く見る(正常化の偏見)心理から始まっています。『まさか自分が・・・』『大丈夫だろう』という心理です。災害の怖さを知り自分で命を守るという認識が重要です。』

**正しく学ぶ** 災害の種類によって命を守る対処方法は異なります。備えの仕方、避難の仕方、救助の方法などが異なるのです。それらを正しく学び、間違いない行動を理解していないと、逆に危険な方向へ向かう、または導くこととなります。

**つながる** 命を守る最後の要は、隣、ご近所など、周りにいる人たちです。いざという時助けあうことができるよう、普段からお互い信頼関係を築いておくことが大切です。みんなで防災の仕組みを築いて、安心な街にしましょう。

随徴(座) 居安思危 思則有備 有備無患

first action 72h

NP0法人 まちの防災研究会

## みんなの歴史学習会

國神神社 講師:國神神社宮司 武曾 素行氏  
7月16日(土) 午後2:00~

講話と宝物殿拝観

- ・神道および神社について
- ・國神神社の由緒について
- ・國神神社の宝物について

参加者の声

近くにいってもなかなか見ることが無かったので、今回直接貴重なものを拝見させていただき良かったです。



けんぼんちよしよくはくさんざんけい まんだら ず  
絹本著色白山参詣曼荼羅図

宝物殿の筆頭に挙げるのは、福井県指定文化財の絹本著色白山参詣曼荼羅図である。これは九頭竜川畔から平泉寺白山神社を経て、白山頂に至る道行きを描いた貴重な室町時代の絵画であり、下半に描かれた中世平泉寺の伽藍、そこに描かれた神々の姿から神仏習合と白山信仰の一端を読み解くことができる。

縦 152.8 cm、横 78 cm

あまくにのほうけん  
天國宝剣

鍔は鍍金で柄には四鈷の先に各々爪があり、象嵌入りの鞘にも龍や雲の細工が施されている。大宝年間、若しくは平安時代後期に活躍した大和在住の伝説の刀工「天國」の作とされる。寛文年間に本多重昭によって國神神社に奉納されたと伝えられている。

刃長 20.2 cm



当日の資料より抜粋







マリンバ 前田 希さん、明新 麻惟子さん



ハンドベル【凜】のみなさん



金管アンサンブル ギャランズのみなさん



オカリナ クラリネット 吉塚 優子さん

会場 さくらホール  
出演者

令和4年6月12日(日) 15時〜17時

素敵なミニコンサート

- ◇ハンドベル【凜】のみなさん
- ♪花は咲く、龍門炭次郎のうた、しあわせの花
- ◇マリンバ 前田 希さん、明新 麻惟子さん
- ♪道化師のギャロップ、星に願いを、ジブリメドレー、紅蓮華
- ◇オカリナクラリネット 吉塚 優子さん
- ♪春の海、椰子の実、城ヶ島の雨、川の流れるのように
- ◇金管アンサンブル ギャランズのみなさん
- ♪ Sing Sing Sing、007メドレー、上を向いて歩こう



野菜ソムリエ・ふくいの食育リーダーの  
前田 公子(ひろこ)さん



メニュー

- ライスペーパーdeカラフルごはん
- 豆乳カスタードdeデザート香巻き
- オレンジと人参 de ラベサラダ
- 野菜deドーム寒天

親子でクッキング  
野菜ソムリエから学ぶ、栄養いっぱい・作って楽しい・食べて美味しい料理教室が、7月16日(土)開催されました。  
野菜やフルーツをたくさん使って、夏バテやコロナ禍にも負けない免疫力アップごはんを作りました。今回大活躍したのがライスペーパー。食材をライスペーパーで巻くだけで、彩り豊かなカラフルごはんやスイーツが完成。食材のアレンジしだいでバリエーション豊富なので、おすすめ一品となりました。  
食に関する豆知識も満載で、食の大切さや楽しさを親子で体感しました。

3年ぶりに城のまちフェスティバルが、子供縁日やキッチンカー、金津JAZZクラブによる演奏会など今までのフェスティバルとは違った形で開催することができました。城のまちまち協とコミセンでは、地域の意見を反映させながら、地域と共に活動を続けていけるようにしていきたいと考えています。(FALCON)

今年も新型コロナが収束せず、注意を要する不便な生活が続いています。幸いにも私の周辺でまだ感染者はおりませんが、濃厚接触者になったのを聞いて驚いたりしています。若い頃に都会で生活していたので、現在の地方住まいの幸運に感謝。(T.M.)

ロシアがウクライナに侵攻して半年以上が過ぎました。未だにロシアは戦闘の手をゆるめません。しかし、驚くべきことはウクライナが自国の領土と人民を守るために徹底交戦しているところです。「大国が小国」を「力がある国が力のない国」を武力で抑えようとしています。この現状をみると大義名分の無い戦争はいずれ自分自身を滅ぼすことになるのではないのでしょうか。過去の戦争の教訓を生かしていないロシアの今後はどうなるのでしょうか。(お天守丸)

古城まつり、古城マラソン等、少しずつ少しずつ日常が戻ってきた感じがする。「不安」は人間を行動すること・挑戦することから妨げようとする。新型コロナウィルスは怖くない。本当に怖いのは結果を恐れてぬるま湯につかり続けることだと思う。さあ、行こう。我々ならできる。(竹)

編集後記



コミセンや城のまちまちづくり協議会の活動を中心に、日常の風景も投稿しています。フォロー&いいね!で応援してくださいね♡



城のまちコミセン  
公式Instagram登録は  
こちらのQRコードから!

MARUOKASHIRONOMACHICC

